

青森県立郷土館 平成26年度評価

基本的運営方針		H26		H26		H26		H26	
		年度目標	年度計画	評価項目	評価指数	郷土館実績	年度目標・計画に対する達成度		
設置目的・理念	<p>青森県立郷土館は、昭和48年に「ふるさとの過去を語り現在を考え未来を展望する」総合博物館として設置され、以来長きにわたり、県民が郷土に誇りを持ち、夢や希望を感じられるよう、郷土に根ざした活動を行ってきました。</p> <p>総合博物館としての当館の使命は、社会教育施設として資料収集・保存、展示、調査研究、教育普及などの活動を通して、本県の歴史や自然、文化などについて誰もが幅広い理解を得られるように支援することにあります。今後も広く県民の意見を取り入れ、経営資源を最大限に生かしながら、未来に向け、下記の博物館活動の充実に努めてまいります。</p>	<p>職員を国や県、大学等の研究機関が主催する各種研修へ参加させるとともに職員の研究活動を援助する。</p> <p>予算の執行管理、分析を行う。各事業の達成状況等について分析を行う。</p> <p>自己評価・外部評価を実施する。</p>	1 各種研修への参加	研修参加人数	研修参加延べ人数	<p>郷土館年間利用者数：104,715人</p>	達成(次年度は過去最多 107,719人を目指す。)(H25年間利用者数60,515人)		
			2 予算の計画的執行と分析	予算執行率・不用額	H25実績以上		1 国立歴史民俗博物館で行われた博物館職員初任者研修に学芸課職員1名参加	2 達成	
			3 基本的運営方針等をHPで公開	HPへの公開	HPへの公開		三重県津市で行われた全国博物館大会に学芸課職員2名参加	3 達成	
1 資料の収集・保存	<p>当館は、開館以来、一貫して郷土に関する資料の収集・保存に努めています。県民・国民共有の財産である貴重な資料の収集・整理に努め、良好な状態で次の世代に継承していきます。</p>	<p>貴重な資料の安全管理と展示公開の促進を図るため、寄贈・寄託の受入れを実施する。</p>	1 登録事務、整理作業の実施	寄贈・寄託件数	寄贈・寄託件数	<p>1 館所蔵資料は97,661点で1,179点の増(みちのく歴史人物資料館からの寄贈ほか)。寄託資料は1,026点(H27.3.31現在)。</p>	1 達成		
			2 採集資料の整理作業の実施	整理作業件数	整理作業件数		2 自然調査における採集資料について、整理作業を実施。	2 達成	
			1 購入評価委員会の開催	購入実績	購入実績		1 H26.12.16開催	1 達成	
2 資料購入の実施	所在確認の実施	所在確認の実施	2 江戸時代末の本県の景観、風俗が描かれた大野文泉筆「南部・下北半島真景図」を購入	2 達成					
3 購入候補所在確認の実施	3 次年度購入予定資料の確認	3 達成							
1 受入資料の適正保管	データベース登録	データベース登録件数	1 資料カード入力率は93.8%(H27.3.31現在。資料点数97,318点に対しカード入力数91,247点)	1 達成					
2 収蔵資料のデータの整備を図る。収蔵庫や展示室の点検や資料の燻蒸等により、収蔵資料を安全に管理する。	点検の実施	点検回数	2 同上	2 達成					
3 重要資料の厳正保管と点検			3 燻蒸は、H27.3月に実施予定。重要資料は収蔵庫において厳重に保管。点検は年度末に実施済。	3 達成					

青森県立郷土館 平成26年度評価

基本的運営方針		H26		H26		H26		H26	
		年度目標	年度計画	評価項目	評価指数	郷土館実績	年度目標・計画に対する達成度		
2 展示	<p>(1)考古、自然、歴史、民俗、りんご、郷土学習室、先人及び風韻堂の8常設展示室で、収蔵資料の中からテーマ毎に精選した資料を効果的に展示します。</p> <p>(2)常設展示室に解説員を配置し、展示資料について分かりやすい解説や、説明資料の配付により、来館者の学習活動を支援します。</p> <p>(3)県民の関心の高いテーマについて、各方面から資料を集めて展示する特別展や民間事業者との共催展などにより、多彩な展示活動を実施します。</p>	<p>常設展示室内の改善・充実を図るため、展示資料を入れ替える。考古展示室の生活コーナーについて、「常設展示室展示替事業」を実施する。</p> <p>経年劣化した設備や展示物について「常設展示室修理・改修事業」を実施する。</p> <p>接遇の向上、専門性の向上を図るため、解説員に対する研修を実施する。</p>	<p>1 八展示室の一部展示資料の入れ替え実施</p> <p>2 一展示室のリニューアルの実施(秋以降)</p> <p>3 展示室内機器の補修、改善(1件)の実施</p> <p>4 解説員研修の実施</p>	<p>展示替え事業の実施</p> <p>展示資料の入れ替え</p> <p>補修、改善の実施</p> <p>解説員研修の実施</p>	<p>実施件数</p> <p>入れ替え作業をした展示室数</p> <p>補修、改善件数</p> <p>解説員研修の実施件数</p>	<p>1 各展示室において、一部展示資料の入れ替えを実施</p> <p>2 考古展示室生活コーナーの大幅展示替えの実施</p> <p>3 自然展示室に展示する両生類・爬虫類の標本を作成</p> <p>4 解説員実習の実施(利用促進への接遇教育、解説スキルアップ研修、英会話研修、企画展・特別展解説研修、個人情報保護研修)</p>	<p>1 達成</p> <p>2 達成</p> <p>3 達成</p> <p>4 達成</p>		
		<p>特別展(発酵菌展)・企画展(「環状列石と周堤墓」、「寄贈記念 鈴木正治展」、「新収蔵資料展」)を開催する。特別展に関連し、外部講師や当館職員によるギャラリートーク、講演会を行う。</p> <p>施設間相互の協力のもと、資料の活用を図る連携展を開催する。季節に応じたテーマで、青森の歴史や風土を紹介する季節展示を実施する。</p> <p>「国際博物館の日」、「東北文化の日」に関連した事業を実施する。</p>	<p>1 当館企画の特別展、企画展の実施</p> <p>2 ギャラリートーク等の実施</p> <p>3 指定管理者企画の特別展の実施</p> <p>4 外部事業者企画の特別展の実施</p> <p>5 連携展の実施</p> <p>6 季節展示の実施</p> <p>7 関連事業の実施</p>	<p>特別展・企画展・連携展の開催件数</p> <p>会期中入場者数</p> <p>来館者の満足度</p> <p>アンケートの「大変良い」「良い」の割合</p>	<p>開催件数</p> <p>会期中入場者数(会期中1日当り入場者数)</p> <p>アンケートの「大変良い」「良い」の割合</p>	<p>1 特別展 発酵食品パワー(会期47日間、観覧者数3,948人、1日平均84人) 企画展 おもちゃ百科図鑑(会期48日間、観覧者数7,289人、1日平均152人) 彫刻家・鈴木正治の世界(年度内会期18日間、年度内観覧者数862名) 2 トーク&おもちゃ実演会ほかを実施 専門家による講演・実演会を8回にわたり実施(参加者数496人) 3 特別展 ドールハウス展(会期44日間、観覧者数28,586人、1日平均650人) 企画展(無料観覧) 青森県写真連盟50周年記念写真展(会期16日間、観覧者数2,314人、1日平均145人) 第82回東奥児童美術展(会期11日、観覧者数2,244人、1日平均204人) 第4回東奥児童書道展(会期10日間、観覧者数633人、1日平均63人) 4 実施せず 5 連携展の開催(浅虫水族館、三戸町立歴史民俗資料館、アスパム、深浦町美術館) 6 季節等に合わせた展示替えを実施 「鈴木正治の彫刻に触れてみよう」、「県重宝指定記念・外浜奇勝」、「青森隕石落下から30年一宇宙に想いを」、「ネプタ・ネプタ」、「地獄絵〜秋の特別公開〜」、「あたたかい冬 すまいと暖房」、「新春 未展」、「あおもりを旅する冬鳥たち」など 7 「国際博物館の日」「東北文化の日」における無料開放の実施</p>	<p>1 達成 大ホール天井改修工事の実施等に伴い、特別展・企画展のメニューを見直し、「環状列石と周堤墓」は平成27年度に特別展として実施することとした。</p> <p>2 達成</p> <p>3 達成</p> <p>4 達成せず 予定していた展示が中止となった。</p> <p>5 達成</p> <p>6 達成</p> <p>7 達成</p>		

青森県立郷土館 平成26年度評価

基本的運営方針		H26		H26		H26		H26	
		年度目標	年度計画	評価項目	評価指数	郷土館実績	年度目標・計画に対する達成度		
3 調査研究	考古、自然、歴史、民俗、産業、美術、先人の各分野において、複数年の期間をかけて行う館外調査及び収蔵資料に関する館内研究を実施するほか、教育普及活動を一層充実させるための研究を進めます。	考古分野の調査研究を実施し、研究紀要に掲載する。	「青森県の縄文遺跡群の調査」(5年計画5年次目)	調査の実施	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載 件数	文献解題による八戸地域の縄文遺跡の分布とその変遷について、調査を実施。 県内出土木製品の樹種調査を実施。	達成	
		自然分野の調査研究を実施し、研究紀要に掲載する。	「馬淵川流域自然調査」(5年計画5年次目)	調査の実施	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載 件数	三戸地方のトビムシ類、蛾類の調査を実施。 郡場寛コレクション、原子一男コレクションの調査を実施。 収蔵貝化石の調査を実施。 東岳石灰鉱山遺構調査の実施。	達成	
		歴史分野の調査研究を実施し、研究紀要に掲載する。	「青森県近現代史に係る基礎調査(1)」(3年計画1年次目)	調査の実施	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載 件数	県内の図書館等所蔵の近現代史史料に係る調査を実施。	達成	
		民俗分野の調査研究を実施し、研究紀要に掲載する。	「近現代における民俗変容調査」(3年計画2年次目)	調査の実施	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載 件数	下北地方のテラを巡る習俗の調査を実施。 津軽地方の泥炭の利用を巡る調査を実施。	達成	
		産業分野の調査研究を実施し、研究紀要に掲載する。	「青森県の交通史に関わる調査」(5年計画2年次目)	調査の実施	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載 件数	郷土史と交通の関連に関する調査を実施。	達成	
		美術分野の調査研究を実施し、研究紀要に掲載する。	「平成期における青森県の美術」(2年計画1年次目)	調査の実施	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載 件数	彫刻家鈴木正治の調査を実施。	達成	
		先人分野の調査研究を実施し、研究紀要に掲載する。	「先人調査」	調査の実施	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載 件数	みちのく歴史人物資料館旧蔵資料の調査を実施。	達成	
		教育普及分野の調査研究を実施し、研究紀要に掲載する。	「博物館教育普及事業の調査研究」	調査の実施	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載	研究紀要 登載件数 原稿執筆・ メディア登載 件数	小学校における「出前授業」の調査を実施。 特別展における納豆(県内企業)の調査を実施。	達成	

青森県立郷土館 平成26年度評価

基本的運営方針		H26		H26		H26		H26	
		年度目標	年度計画	評価項目	評価指数	郷土館実績	年度目標・計画に対する達成度		
4 教育普及	<p>(1)郷土館資料及び郷土についての講演会・講習会、観察会、体験活動などを実施します。</p> <p>(2)郷土館資料及び郷土に係るレファレンスサービスを行います。</p> <p>(3)学校の学習活動を支援する活動のほか、公共施設や福祉施設等を支援する活動も実施します。</p>	歴史、文化、自然等に関する専門的な知識・経験を、県民に広く還元するため、「土曜セミナー」を実施する。	当館職員及びゲストキュレーターにより、4月を除く毎週土曜日に、実施	実施回数	H25実績以上	実施回数 H25-41回、H26-32回 職員が講師を務めた回数 H25-22回、H26-15回 参加人数 H25-1,584人、H26-1,169人	ほぼ達成		
		郷土館の資料を会場に運び、体験活動や資料の展示・解説を行う「移動博物館」を実施する。	公共施設・福祉施設等からの要請に応じて実施(随時)	実施回数	H25実績以上	実施回数 H25-4回、H26-11回 参加人数 H25-145人、H26-1,353人	達成		
		郷土館の学芸員・職員が、各分野に関する講演会・学習会へ講師としてお伺いし、県民の生涯学習を支援する「講師派遣事業」を実施する。	館外からの派遣依頼に応じて、実施(随時)	実施回数	H25実績以上	実施回数 H25-14回、H26-15回 参加人数 H25-518人、H26-624人	達成		
		博物館機能や博物館資料への理解を深めるため、県民参加型のワークショップ及び博物館資料の公開説明などを行う「博物館の仕事普及啓発事業」を実施する。	一般県民や博物館関係者を対象に実施(11月)	参加博物館数	H25実績以上	H26.11.5実施 参加博物館数 H25-40館、H26-26館 参加人数 H25-81人、H26-40人	達成		
		県内の動植物や地質などを観察する「自然観察会」を実施する。	夏1回、秋1回、県内において実施	参加人数	H25実績以上	H26.5.25、H26.10.5実施 参加人数 H25-夏40人(階上岳)・秋16人(種差海岸) H26-夏17人(五所川原市相内 大沼公園 山王坊 日吉神社)・秋28人(平川市 志賀坊森林公園)	ほぼ達成		
		中心街に眠る、隠れた歴史を探り当て、街の意外な性格を浮かび上がらせる「あおもり街かど探偵団」を実施する。	9月1回、10月1回実施	参加者の満足度	アンケートの「大変良い」「良い」の割合	H26.9.27、H26.10.4実施 参加人数 H25-30人 H26-34人(合浦公園19名、青森港周辺15名)	達成		
		学校での教育活動の補助として、郷土館の資料を会場へ運び、体験活動や資料の解説を行う「出前授業」を実施する。	小・中学校からの要請に応じ、週4回・月15回を上限に実施	実施回数	H25実績以上	実施回数 H25-53回、H26-69回 参加人数 H25-2,954人、H26-3,959人	達成		

青森県立郷土館 平成26年度評価

基本的運営方針		H26		H26		H26		H26	
		年度目標	年度計画	評価項目	評価指数	郷土館実績	年度目標・計画に対する達成度		
4 教育普及 (つづき)	(1)郷土館資料及び郷土についての講演会・講習会、観察会、体験活動などを実施します。 (2)郷土館資料及び郷土に係るレファレンスサービスを行います。 (3)学校の学習活動を支援する活動のほか、公共施設や福祉施設等を支援する活動も実施します。	調べ学習に関連し、児童・生徒の質問について、その答えを探す手伝いをする「調べ学習応援団」を実施する。	直接来館の他、手紙やFAX、メール等でも受付	相談件数 相談人数	H25実績以上	相談件数 H25-0回、H26-1回 相談人数 H25-0人、H26-1人	達成できず 生徒個人の質問よりは、学校からの質問という形に変わってきているため		
		児童・生徒に、楽しみながら郷土理解を深めさせる「ミュージアム探検隊」を実施する。	夏・冬休み期間中を除く土曜・日曜・祝日及び春休み期間中に実施	参加人数	H25実績以上	参加人数 H25-554人 H26-1,048人	達成		
		ものづくりや体験活動により、長期休業中の子どもたちの学習を支援し、博物館の興味関心の増大を図るため、「夏休みこどものくに」、「冬休みづくりまわし大会」を実施する。	1 夏休みこどものくに(7月1回、8月1回)の実施 2 冬休みづくりまわし(1月1回)の実施	参加人数 参加者の満足度	H25実績以上 アンケートの「大変良い」「良い」の割合	1 H26.7.27、H26.8.3実施 参加人数 H25-161人、H26-152人 2 H27.1.11実施 参加人数 H25-58人、H26-34人 参加者満足度 参加者の98%が「参加の目的は達成できた」と回答	1 達成 2 達成		
		展示資料やわくわくたいけんルームのアイテムを、見たり・さわったり・考えたりしながら、青森県についてのクイズを解いていく「郷土館クイズラリー」を実施する。 特別展・企画展の内容に関連した子ども向けのイベントを実施する。	夏・冬休み期間中、毎日実施	参加人数 参加者の満足度	H25実績以上 アンケートの「大変良い」「良い」の割合	参加人数 夏休み H25-272人、H26-486人 冬休み H25-167人、H26-131人 アンケート(夏休みのみ)の「またやりたい」「すこしやりたい」の割合:87% 「ミニカーを探せ」(1,233人参加)「名探偵 郷&土館 郷土館の名品を探せ」(374人参加)等を実施	達成		
		県内の自然・文化等に関する資料を、学習素材として小・中学校で活用してもらうため、教員を対象とした「授業に役立つ博物館研修」を実施する。	夏休み期間中(8月)に実施	参加人数	H25実績以上	H26.8.5実施 参加人数 H25-10人、H26-4人	ほぼ達成		
		博物館の仕事や活動に興味・関心がある中学・高校生を対象に「職場研修」を実施する。 学芸員資格取得のため、博物館学を受講している大学生を対象に、「博物館実習」を実施する。	1 職場研修は随時実施 2 博物館実習は、夏休み期間中(5日間)に実施	参加者の満足度	アンケートの「大変良い」「良い」の割合	1 中学校 3校18名参加 高等学校 5校22名参加 子ども職場参観日(H26.11.2実施) 9名参加(保護者同伴) アンケートの郷土館の仕事について「よくわかった」「わかった」の割合:100% 2 H26.8.18~22実施。10名参加 アンケートの「大変良い」「良い」の割合:100%	1 達成 2 達成		

青森県立郷土館 平成26年度評価

基本的運営方針		H26		H26		H26		H26	
		年度目標	年度計画	評価項目	評価指数	郷土館実績	年度目標・計画に対する達成度		
5 連携	<p>(1) 県内外の博物館及び図書館等の社会教育施設、民間事業者等と積極的に連携・協力し、博物館としての総合力を高めます。</p> <p>(2) 博物館国際交流として、ロシア連邦ハバロフスク地方郷土博物館やアメリカ合衆国メイン州立博物館と文献資料の交換を実施します。</p>	<p>未加盟館に参加を働きかける。青森県博物館等協議会の理事会・総会、大会を開催する。大会は、「博物館の仕事普及啓発事業」と合同で行う。青森県博物館等協議会のホームページを充実させる。</p>	<p>1 理事会・総会開催(6月)</p> <p>2 大会開催(11月)</p> <p>3 HPアクセス回数を増やす。</p>	<p>総会参加館数 H25実績以上</p> <p>大会参加館数 H25実績以上</p> <p>HPアクセス回数 H25実績以上</p>	<p>1 H26.6.4実施 総会参加館数 H25-24館、H26-40館</p> <p>2 H26.11.5実施 大会参加館数 H25-40館、H26-26館</p> <p>3 HPアクセス回数 H19.12.13開設 H27.3.20現在 14,035回</p>	<p>1 達成</p> <p>2 達成せず 市町村の博物館などの実情を把握し、課題を整理した。</p> <p>3 ほぼ達成</p>			
		<p>ハバロフスク地方郷土博物館及びメイン州立博物館との交流を継続する。</p>	<p>1 ハバロフスク博物館と文献資料の交換</p> <p>2 メイン州立博物館と文献資料の交換</p>	<p>1 1回以上</p> <p>2 1回以上</p>	<p>1 連携写真展「あたたかい北 ロシアの北方民族エヴェン人の生活」を郷土館で開催(H26.11.12～H27.2.11)</p> <p>2 刊行物交換、情報交換を実施</p>	<p>1 達成</p> <p>2 達成</p>			
6 施設	<p>(1) 来館者が安全・快適に利用できるよう、施設・設備の整備と管理を行います。</p> <p>(2) 公共的な施設として、地震等の自然災害や火災等に備え、防災意識の向上と危機管理体制の強化を図ります。</p> <p>(3) ライフサイクルコストを勘案し、施設・設備の効率的維持管理を行います。</p>	<p>施設・設備の点検・整備を実施する。 来館者アンケートを反映し、わかりやすい案内表示、安全対策に努める。</p>	<p>1 定期点検の実施(毎月)</p> <p>2 来館者アンケートの集計・分析</p>	<p>実施回数 12回</p> <p>参加者の満足度 アンケートの「大変良い」「良い」の割合</p>	<p>1 4～3月まで12回実施。</p> <p>2 施設全体の満足度について(アンケート結果) 大変満足45%、満足35%</p>	<p>1 達成</p> <p>2 達成</p>			
		<p>防災マニュアルを整備し、内容の見直しを行う。 テーマを明確にした防災訓練を実施する。</p>	<p>1 消防訓練(7月)</p> <p>2 文化財防火デー訓練(2月)</p>	<p>実施回数 1回</p> <p>実施回数 1回</p>	<p>1 H26.7.11実施 与えられた役割を演じる訓練ではなく、様々な立場でどのような行動が必要かを考えながらの訓練を実施。</p> <p>2 H27.2.19実施 文化財防火デーに関連して火災時救出資料の確認をした。</p>	<p>1 達成</p> <p>2 達成</p>			
7 情報発信	<p>(1) 郷土館の利用機会の拡大、調査研究の成果の普及のために、パンフレット、館報、展示図録、研究紀要等を作成し、郷土理解の増進を図ります。</p> <p>(2) 個人情報に配慮しながら、WEBなど様々な媒体を積極的に活用し、郷土館活動への一層の理解の増進を図ります。</p> <p>(3) 県民が郷土を理解する手助けをするとともに、郷土の歴史や文化を県外に広く発信します。</p>	<p>年間行事案内や利用案内等を作成・配布する。 特別展・企画展や教育普及事業の案内だけではなく、郷土館に関する情報をテレビ・ラジオ・新聞社に対し、積極的に資料提供する。 インターネットや情報誌を活用して情報発信を行う。 県内のほか、北海道・秋田県・岩手県内の学校、旅行代理店等へ集客勧誘PRを実施する。 インターネットを利用した双方向型デジタルミュージアムの開設に向け、検討・着手する。</p>	<p>1 年間行事案内や利用案内等を作成・配布</p> <p>2 情報発信件数の増</p> <p>3 報道件数の増</p> <p>4 デジタルミュージアム開設の検討・着手</p>	<p>年間行事案内や利用案内等を作成・配布</p> <p>情報発信件数 H25実績以上</p> <p>報道件数 H25実績以上</p> <p>デジタルミュージアム開設の検討・着手 事業進捗率</p>	<p>1 年間行事案内-2回 利用案内-1回 郷土館だより-3回</p> <p>2 情報発信件数(媒体数) H25-49件(情報誌14件、インターネット35件) H26-75件(情報誌33件、インターネット42件)</p> <p>3 報道件数(連載除く) H25-100件 H26-116件</p> <p>4 デジタルミュージアム 契約H26.11.1、2年計画の1年目 H27.3月の運用テストまで、順調に進んでいる</p>	<p>1 達成</p> <p>2 達成</p> <p>3 達成</p> <p>4 達成</p>			

青森県立郷土館 平成26年度評価

基本的運営方針	H26		H26		H26	H26
	年度目標	年度計画	評価項目	評価指数	郷土館実績	年度目標・計画に対する達成度

総合評価(自己評価)

平成26年度の青森県立郷土館の活動状況を、「設置目的・理念」「資料の収集・保存」「展示」「調査研究」「教育普及」「連携」「施設」「情報発信」ごとに年度目標の達成状況を確認したところ、評価項目の大多数が年度目標を「達成」「ほぼ達成」であることから、充実した活動を実施できたと評価する。

今年度の博物館利用者数は、企画展「おもちゃ百科図鑑」や特別展「ドールハウス展」の入場者数が好調だったことにより104,715人となり、平成15年度の107,719人に迫る勢いである。

今年度の評価を踏まえ、平成27年度においても、県民が郷土に誇りをもち、夢や希望を感じられるよう郷土に根ざした活動のさらなる実践に努めます。